

第2次三遠南信地域連携ビジョン（案） に係るパブリックコメントの募集結果について

<概要>

- ・ 募集時期 平成 30 年 11 月 1 日（木）～平成 30 年 11 月 30 日（金）
- ・ 意見提出者数 7 人
- ・ 提出方法 メール（6）、FAX（1）
- ・ 意見数 29 件
- ・ 意見への対応 案の修正 15 件
 今後の参考 8 件
 盛り込み済 6 件

目次

第2章 本地域の現状（4 件）	・ ・ ・ ・ ・ 2
第4章 地域連携の方針（5 件）	・ ・ ・ ・ ・ 5
第5章 重点プロジェクト（7 件）	・ ・ ・ ・ ・ 7
第6章 推進体制・スケジュール（1 件）	・ ・ ・ ・ ・ 10
第7章 附属資料（2 件）	・ ・ ・ ・ ・ 11
その他（10 件）	・ ・ ・ ・ ・ 13

第2章 本地域の現状

意見 1	「三遠南信地域のつながり」において、「秋葉街道」と明示されるのなら、その中心である「秋葉神社」の位置も示すべき。
意見 2	「中央構造線」に関するビジュアル的な説明が必要。「中央構造線」の織り成す地形があつてこそ、長い歴史の中で人間の交流が促進されたということを、目立つ形で打ち出すべき。

【考え方】盛り込み済み

それぞれ、説明文で記述をしており、図に入れることで煩雑になることを避けるため、このままとさせていただきます。

意見 3	文章では、東西交易が明記されているが、地図上では三遠の結びつきが軽視され、南北連携のための新ビジョンに見える。地図上に東西軸も書き込むべき(東海道・姫街道)。
意見 4	「三遠南信地域のつながり」において、圏域のつながりを説明する際、戦国時代の徳川・武田の攻防が、人の動きを活性化させたという歴史も踏まえるべき。

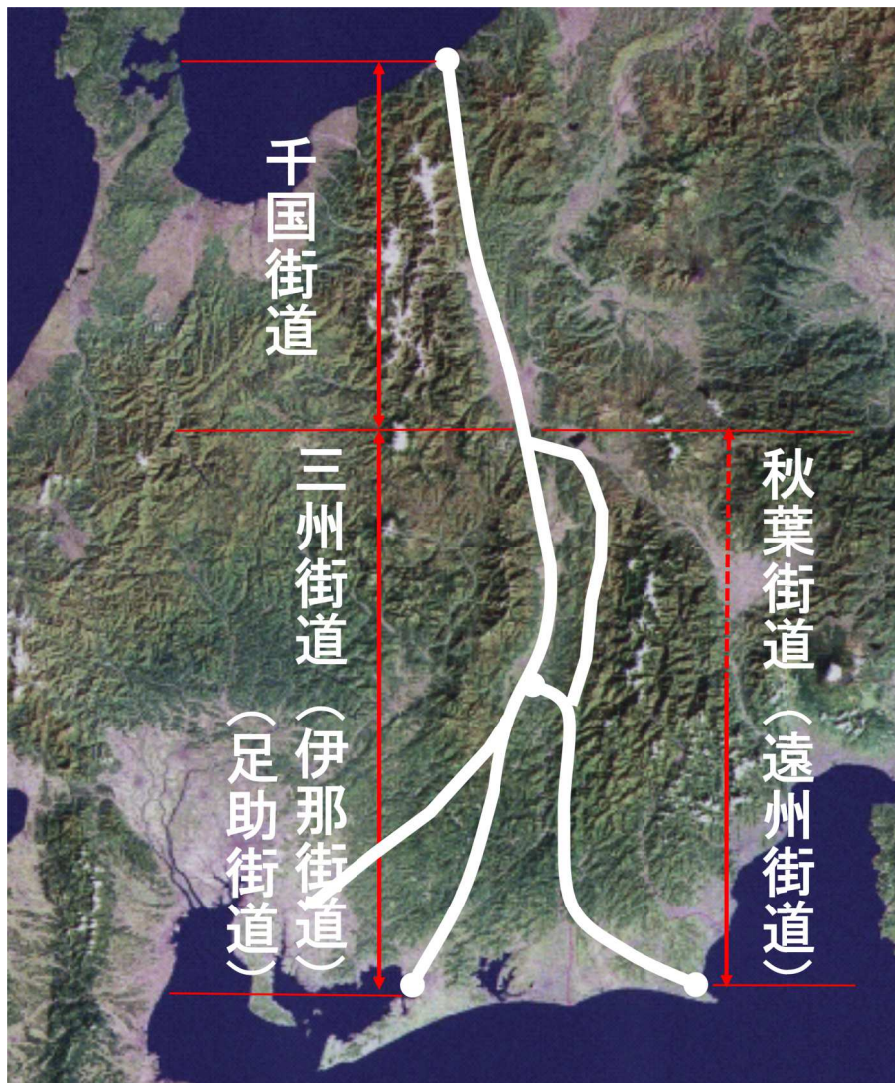
【考え方】案の修正

地図上の記載と説明文を追記しました。

【内 容】

《修正前》

三遠南信地域では、日本の東西交易の軸である東海道や中山道とは別に、天竜川や豊川など中央構造線の川筋・谷筋に沿って、三州街道（伊那街道、足助街道）や遠州街道、秋葉神社への参拝道であった秋葉街道など「塩の道」を行き交う人々の南北の交流がありました。国指定の重要無形民俗文化財である愛知県の「花祭」や長野県の「遠山の霜月祭」、静岡県が無形民俗文化財である「川合花の舞」などは似た特徴を持っており、これら南北の交流は文化的なつながりからも分かります。



《修正後》

本地域では、東海道や姫街道による東西の交易に加え、天竜川や豊川など中央構造線の川筋・谷筋に沿って、三州街道（伊那街道、足助街道）や遠州街道、秋葉神社への参拝道であった秋葉街道など「塩の道」を行き交う人々の南北の交流がありました。また、戦国時代には、徳川氏と武田氏の攻防が繰り広げられました。国指定の重要無形民俗文化財である愛知県の「花祭」や長野県の「遠山の霜月祭」、静岡県の無形民俗文化財である「川合花の舞」などは似た特徴を持っており、これら南北の交流は文化的なつながりからも分かります。



第4章 地域連携の方針

基本方針1（道）中部圏の中核的都市圏となる地域基盤の形成

意見 5	三遠南信自動車道が出来ても素通りされてしまっただけでは意味がなく、三遠南信地域一帯の交流人口が拡大することで、高齢化対策、医療対策、国内や海外からも観光客を呼び込み、三遠南信地域全体の力となると思う。
------	--

【考え方】盛り込み済

「基本方針1（道）」や、「重点プロジェクト1」において、道路基盤整備に伴う活用については記述をしています。

基本方針3（風土） 流域文化創造圏の形成

意見 6	「推進方針Ⅰ」、もしくは「推進方針Ⅱ」において、三遠南信の象徴としての中央構造線とジオパークを広域観光につなげることを明文化すると良い。
------	--

【考え方】案の修正

「推進方針Ⅰ」に、中央構造線、ジオパークについて追記しました。

【内 容】

《修正前》

天竜川・豊川の流域に広がる自然環境や景観、個性豊かな特色を持つ民俗芸能、祭り、歴史文化、花火、温泉、食文化などの多様な地域資源を活用し、エコツーリズムを意識した広域観光を推進します。

《修正後》

天竜川、豊川の流域や中央構造線沿いに広がる自然環境や景観、民俗芸能、祭り、歴史文化、花火、温泉、食文化など、個性豊かな特色を持つ地域資源を活用し、ユネスコエコパーク、ジオパークなどのエコツーリズムを意識した広域観光を推進します。

基本方針 5（人） 地域の持続的発展に向けた人材集積地の形成

意見 7	平成 29 年に提案された（案）では、「主要施策① だれもが輝く地域づくり」において、「LGBT パートナースhip制度の導入」が明記されていた。しかし、今年示された「第 2 次三遠南信地域連携ビジョン（案）」では、その記載がなく、「推進方針Ⅱ だれもが輝く地域づくり」では「性などの違い」となっており、「性的指向・性自認」なども言葉も触れられていないのは、大きな後退である。
意見 8	LGBT パートナースhip制度導入の記載が無くなった。三遠南信地域の LGBT が地域外に移ってしまう恐れもあり、人材の流出につながる。記載を残してほしい。
意見 9	LGBT に寛容な社会になりつつある中、日本は遅れている。自分に合った生き方が認められる社会であって欲しい。

【考え方】 案の修正

平成 29 年に示した、各基本方針の「想定される事業」として「パートナーシップ制度の導入」を挙げましたが、基本方針の記述として具体的事業は最終的に削除することとなりました。

【内 容】

《修正前》

推進方針Ⅱ だれもが輝く地域づくり

この地域に暮らす人々の多様な文化・価値観を認めあい、人種・宗教・性などの違いに関わらず多様な学びや暮らし、働き方を選択できる地域づくりを進めます。

《修正後》

推進方針Ⅱ だれもが輝く地域づくり

本地域に暮らす人々の多様な文化、価値観を互いに認め合い、人種、宗教、性別、性的指向・性自認などの違いに関わらず、多様な学びや暮らし、働き方を選択できる地域づくりを進めます。

第5章 重点プロジェクト

2 三遠南信圏民の一体感醸成プロジェクト

意見 10	「(2) 三遠南信スポーツ交流事業の実施」において、圏民の一体感醸成プロジェクトに相応しいイベントである旨の説明が不足しているように思われるので、追記をするとい。
-------	---

【考え方】 案の修正

説明文を修正しました。

【内 容】

《修正前》

地域への理解を深めるきっかけとして、地域住民のスポーツイベントなどへの参加、地域内のプロスポーツチームとの交流など、スポーツによる住民の交流を促進します。

《修正後》

スポーツイベントなどへの参加、本地域内のプロスポーツなどを通じた住民の交流などにより同じ時間や価値観を共有することで、住民の一体感を高めます。

意見 11	「(3) 地域に関する歴史や文化の共有・発信」において、歌舞伎交流の画像があるが、どの地域の歌舞伎か分からないので、追記してはどうか。
-------	---

【考え方】 案の修正

説明を修正しました。

【内 容】

《修正前》

三遠南信ふるさと歌舞伎交流

《修正後》

三遠南信ふるさと歌舞伎交流（下條歌舞伎保存会）

4 三遠南信探訪プロジェクト

意見 12	「秋葉信仰」「中央構造線」「戦国時代の徳川・武田の攻防」「ジオパーク」について、何らかの紹介を明文化すると良い。
-------	--

【考え方】盛り込み済

それぞれ、第2章の現状や、第4章の地域連携の方針に記載しました。

意見 13	五平餅の画像が、どこの五平餅かが分からないので、追記すると良い。
-------	----------------------------------

【考え方】案の修正

五平餅は本地域内に色々な種類のものがあるため、下記の通り説明を追記しました。

【内 容】

《修正前》

五平餅

《修正後》

本地域に広がる五平餅 (写真は設楽町のもの)

意見 14	「三遠南信食の祭典」は、「三遠南信」の一体感の象徴イベントであり、さらに3県の接点での開催であることが分かるよう、「豊根村の茶臼山高原」であることを明示すべき。
-------	--

【考え方】案の修正

説明を修正しました。

【内 容】

《修正前》

三遠南信食の祭典

《修正後》

三遠南信食の祭典 (豊根村茶臼山高原)

意見 15	「サイクルツーリズム」に、浜名湖・太平洋岸の記述がない点が不自然に思われる。
-------	--

【考え方】案の修正

説明文を追記しました。

【内 容】

《修正前》

高規格幹線道路の開通により自動車の交通量の減少が予想される国道や中山間地域を通る鉄道を活用した塩の道サイクルツーリズムなど、県境を越えたサイクルツーリズムを推進します。

《修正後》

高規格幹線道路*の開通により、自動車の交通量の減少が予想される国道、浜名湖や太平洋沿岸の自転車道、中山間地域を通る鉄道を活用した、塩の道サイクルツーリズムなどの県境を越えたサイクルツーリズムを推進します。

5 中山間地域が輝くプロジェクト

意見 16	「綱引き合戦」は、主要 3 市の一体性を象徴するイベントであり、場所、対戦相手が分かる表記にしたらどうか。
-------	---

【考え方】案の修正

説明を追記しました。

【内 容】

《修正前》

峠の国盗り綱引き合戦

《修正後》

峠の国盗り綱引き合戦（遠州軍（浜松市）対 信州軍（飯田市）、兵越峠）

第6章 推進体制・スケジュール

意見 17	「推進体制」について、「多様な活動主体」とありますが、市民活動のプラットフォームになり得る主体の存在を追記すると良い。
-------	---

【考え方】案の修正

三遠南信地域の住民団体のプラットフォームである団体を追記しました。

【内 容】

《修正前》

三遠南信地域の多様な活動主体

《修正後》

三遠南信地域の多様な活動主体 （三遠南信住民ネットワーク協議会など）

第7章 附属資料

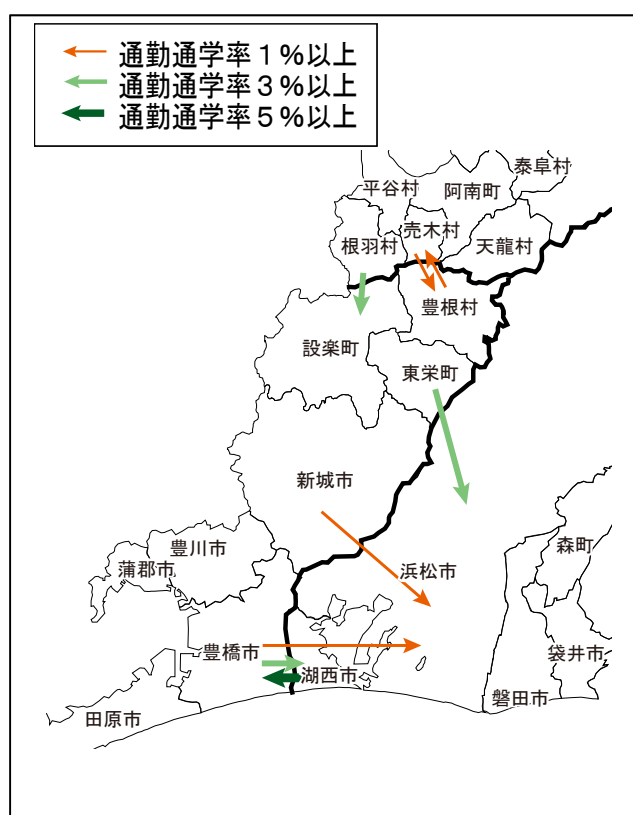
3 データ

意見 18	「通勤通学率」では、三遠南信が自立した圏域であることを説明しているが、県境をまたぐ動きが、豊橋・湖西間しかなく、一体的な圏域である説明としては弱い。数値として大きくは出ないが、県境を跨いでいる実態を、説明等で補っておくのが良い。
-------	--

【考え方】案の修正

県境に接する市町村間の通勤通学の移動を示す図を追加しました。

《修正後》



意見 19	「鉄道網」において、全国的にも有名な、秘境駅が複数存在していることは、図示したうえ、説明文を加えるべき。
-------	--

【考え方】盛り込み済み

「重点プロジェクト 4」の（４）鉄道を活用した観光振興の文中に記述をしています。

その他

意見 20	国道 23 号バイパスの記載について、国道 23 号” 名豊道路”の方が伝わりやすい。
-------	---

【考え方】案の修正

全ての「国道 23 号」を、「国道 23 号バイパス（名豊道路）」に変更しました。

意見 21	現実に県境に暮らす人々の課題解決に、資するものになっているか。住民目線を踏まえた課題抽出により、その方策が検討されているか。
-------	--

【考え方】盛り込み済み

住民目線でのビジョンづくりに取り組んでまいりました。中山間地域の県境域を対象としては、「重点プロジェクト 5 中山間地域が輝くプロジェクト」を掲げています。

意見 22	中心的役割を担う 3 市（豊橋・浜松・飯田）で、もしくはそのうち 2 市で取り組むリーディングプロジェクトを、打ち出せると良い。特に「豊橋＋浜松」のプロジェクトが具体的に示されることを期待する。
-------	---

【考え方】今後の参考

オープンデータライブラリーなど、既に 3 市中心で取り組んでいるものもあります。また農産物の販路拡大に向けた取組のように、課題に応じて様々な組み合わせのプラットフォームづくりを促進してまいります。

意見 23	「子どもや学生、行政職員などの交流機会の創出・拡大」において、特に、歴史・文化の側面での具体的な取組に向け、学芸員や司書のネットワークを盛り込む必要がある。
意見 24	「三遠南信に関する地域教育の促進」について、特に「中央構造線」「戦国時代の徳川・武田の攻防」は、圏域の学校教育・生涯教育の大きな柱にするべき。
意見 25	移動型のアンテナショップ、「アンテナショップカー」を提案する。車体に三遠南信の地図などをPRし、「三遠南信Tシャツ」なども販売するなどしてはどうか。3台準備し、1台は「関東方面」、1台は「関西方面」、1台は「三遠南信地域内」を毎週動くようにしてはどうか。
意見 26	米原市や長浜市でお城関係の大使を務めており、「全国山城サミット浜松大会」では、ビデオレターでイベント冒頭にメッセージを出している、春風亭昇太師匠に「三遠南信お城大使」をお願いしたらどうか。
意見 27	一般市民には遠い存在となっている三遠南信サミットについて、開催地をゴールとする、伝書などをバトンとした、ウォーキングリレーをしてみてもどうか。参加者は自治体の要望などを記した伝書や巻物を持って、開催地に近づき、自治体の境で次の自治体の参加者に渡し、リレーするもの。
意見 28	城ブームを活用するため、三遠南信お城サミット（仮称）を開催してはどうか。
意見 29	バイクに「甲冑武者」が乗って走る、「三遠南信鉄騎隊（仮称）」を結成してはどうか。バイクメーカーも集中しており、世界に胸を張る、個性的な「鉄騎隊」やイベントを仕掛けることで、広報、PRにつながる。

【考え方】 今後の参考

今後、具体的な事業に取り組む際の参考とさせていただきます。